

有明高専だより

第33号
有明工業高等専門学校
〒836・大牟田市東萩尾町150
Tel 09445 ③ 1011
印刷・久留米軽印刷(有)

父兄懇談会出席の皆様へ

学校長

轟 一郎

連日の炎暑と御多忙の中、御参集いただき厚く御礼申し上げます。この父兄懇談会の趣旨は、一、有明高専がとっている基本的な教育方針について御説明申し上げること、二、有明高専の現況について御報告申し上げること、三、御子弟の高専における学習態度と前期中間テストの成績について御知らせし、必要があればその対策について懇談いたすこととあります。

私共有明高専の基本的な教育方針は、皆様の大切な御子弟を御預かりした以上、全員立派な技術者として社会に送り出すことであり、これを使命とし、一人の落ちこぼれもないことを目標に、教官は懸命に教育指導にあたっています。残念なことは、留年者が毎年決して少ないとは云えない現状であります。能力は十分に具えながら、勉強意欲を失って落後する学生を救うにはどうすればよいか、教官の実態調査を行うなどして、教官は対策に心を痛めています。然し有明高専の学生は全般的に素直・明朗であり、大部分の学生はよく勉強に励んでおり、就職状

挨拶要旨

況も近年の不況にもかかわらず、関係教官の御努力もあって全員就職を達成しています。有明高専の現況については、教務・学生・寮務の三主事から、それぞれの担当分野での詳細・具体的な説明が、引続いてあります。なお御子弟個々のことについてはクラス担任教官とよく御懇談いたさし、本日の会が十分意義あるものとなることを期待いたします。

教務主事

下村 龍太郎

本校の電子計算機による成績処理ができるようになりましたので、これによって打ち出した成績通知簿を、年4回ご父兄のお手元にお届けすることになっております。これまででは学生に渡していたのですが、先日、「今まで一回も成績表を見たことがない」と言われた方がおられましたので大変おどろきました。第1回は本日の父兄懇談会で直接お渡しし、あと3回は郵便でお届けいたします。子細にご点検頂き度いと思っております。

次に学校の始業時刻を6月21日から8時40分にいたしました。これは本校の通学範囲が広く、どうしても8時30分に間に合わない

学生がいて、遅刻に対するクラス担任の指導が困難なためにやむを得ずとった措置で、学校の姿勢をゆるめた訳ではありません。ご了承の上、ご協力を願います。さて、学習意欲の向上につきましては、最も頭を悩ましています。アンケート調査を行ったところその中の「自宅での勉強時間」という項目で1時間以下というのが約38%で、この程度の勉強では高専での学習にはついていけない者が多くなるのではないかと思います。研修の時の話合いで「高専における勉強は受験のための勉強ではなく、生涯の仕事につながるものだから最もやり甲斐がある筈だ」という話をすると、そのときはよく理解しているようですが、それがどうも長続きしません。私も何とか引っぱって行くよう努力いたしますが、ご父兄にも一層のご協力をお願いします。

学生主事

樋口 大成

学生が勉強する気になれば、モラルの低下する心配はないのですが、残念ながら、喫煙の低学年化や交通違反等低下の傾向です。さて、人間誰しも不自由よりも自由が良いに決まっています。そして学生が自由を求める心とは、自主性の成長でもあるので、我々はその芽を育ててやらなければなり

ません。ところが一方、モラル低下の傾向時に自由を助長すると、ひとつ間違えば際限なき情落へと向いかねない気がいたします。もし、服装を自由にしてやれば、登校に際して、ロックコンサートに行くような服装が出現しかねない気がいたします。それでは、学校に勉強に行くのだという基本が更に忘れられるでしょう。自主性は育てたいが情落させてはいけません。教育のむつかしさはここにあります。本校には詰襟の制服のほかに、濃紺の背広も制服としております。これも、自由と規制との兼ね合いの産物です。ところで、お手許に配布しました「有明高専だより・特集号」の卒業生の声をよく読んで下さい。本校の前途には明るい目標があるのだという希望が湧き、学習意欲が湧いてくるものと信じます。

寮務主事

品川 尚司

申すまでもなく、私共の寮は学生寮で、勉強に相応しい環境作りのために、寮生会を中心に、教職員共々、及ばずながら努力しております。沈黙の時間の設定は、静慮な時間帯を作り、それを中心にして、勉強の実を上げようという主旨によるものです。しかし、学生の中には、この主旨を生かせず、その後も、自習室に落着かず、意志薄

弱と身勝手のため、自ら苦境に陥る悪行を重ねる人がいます。この点は特に注意しておりますが、尚力及ばず、本人の自覚を喚起するに至らず、残念でございます。次に、寮生活とお金の使い方について触れますと、寮生の中には飲食・遊戯に出費が多過ぎる人がいるようです。ラジオ等も高価なものが多く眼につきまます。学習効果を上げるための出費が中心となり、衣服、所持品、その他については、成るべく、節約をしたいものであります。学生諸君の中にはやむを得ず、つましく過している人がいることを忘れてはならないと思っております。親許を離れた我が子の不自由を憶はれて、ついものとの与え過ぎとなり、それが協同生活に波紋を起すとなれば問題で、行き過ぎた御配慮は御一考戴きたく、よろしくお願い致します。次に、居室の整理整頓、衛生管理について、配慮不足を注意しますと、青年男子特有の反発を浴びることがあります。しかし、事が起る前の注意は私共の仕事の一部と心得、特にひどいものから注意を続けたいと思っております。要するに、他人に対する配慮と礼儀をわきま、寮生活を通して逞しく成長し、巣立ってもらおうと、我々寮関係者一同の念願でございます。

昭和52年度新入生オリエンテーション

(於)天草青年の家

学校生活にもようやく慣れてきた五月中旬、新入生オリエンテーションが天草青年の家で行われた。入所後のスケジュールの進行について学生たちも研修の意味を肌で感じ取ったようである。不慣れな団体生活のため、始め

学生の感想文から

M 田中 博成

天草青年の家に着いて最初に感じたことは大変景色がよいということ、聞くところによると、雲仙天草国立公園の一部になっているという。こんな環境の下で、団体生活の意義について色々学ぶのだ。まず最初に校長先生の講話があり、一、強く正しくあなたたか人間づくり、二、エンジニアの役割の重要なこと、三、これから勉強について、の三つの大きな問題について話された。この中で僕は、人間の教育とは頭脳の発達ということもあるが、それと平行して人間性という心の発達も同時に、またそれ以上に重要であること



昭和52年度新入生オリエンテーション (於天草青年の家)

は、集合時の整理、入浴の後始末、就寝など規律に欠けるところもあつたが、学生たちの自覚の深まりにつれて、見逃えるほど整然とした行動が取れるようになった。三日間では、校長の講話、天草の自然などが学生たちに最も感銘を与えたようである。また研修の成果を日常生活に生かしたい、という感想文も多かった。その思いを忘れず、高専生活を送ってくれよう祈りたい。(学生主事補)

M 村中 真澄

僕が青年の家のオリエンテーションを終えて先ず思ったことは、団体行動のむずかしさだ。僕等機械科は班を分けて、班ごとの行動を取った。班員八名の行動が一つ

につかないような優しさがあふれていた。この先生方の話しを聞いたことだけでも、授業よりもっと数倍の知識を身につけることができた。 E 末藤 祐一

対してのあり方についての熱心な講話は、僕等学生全員の目を捉えてはなさない。あの講話は一生僕等の心の中に残ることだろう。そしてもう一つ、青年の家のみなさんの朝のつどい、夕べのつどい、キャンドルサービスでの笑顔をきこう、そして心の中に一つ一つはいり込むような言葉には僕が考え

E 平川 孝司

このオリエンテーションによって電気のクラスがどういうものであるか、大体わかりました。みんな愉快な友人ばかりで、僕はあまりがつかないのでは、と思つたが、いざ話し合いという時には、

それと反対に団体生活のすばらしさが身にしみたま。きびきびとした、時間には正確なこと、五分前というのなかなかかむずかしい。しかしこの五分前というのは大切だと思

私は有明高専という学校をよく知らないままにこの学校に入学し、そして二ヶ月足らずを今のクラスのみんなと過ごしてきた。そして今、この天草青年の家に来て、三日間の研修を終えようとしている。あまり話をしたことなかった友達とも気軽に話せたり、その反面、反感を抱いたりもした。しかし、これでクラスの輪も広がったように思える。

次、こへ来て思ったのは、海、山そのものは全体としてはきれいにいるが、実際に一部分だけ見ると、かんくずや、びんのかげらや、あき袋などが大へん多いのびつくりした。「これはきつともも考えていない無責任な人間がちらかしていったものだろう。こんなことだから日本人が嫌われるのだ」と僕は思った。また「この「天草富士」といわれている島がむやみに切り崩されて、大変苦しくなっている。「せつかくの自然が何千年かけて作った芸術を、人間は簡単にこわしてしまふ。人間とは一体、何だろう」と考えさせられた。

ついで、みんなの雰囲気が一層もりあがったようだった。この研修は私にとって大変貴重な体験となるだろう。団体生活の中で自分という一人、他の者による影響を与えるか。みんなと力を合わせ閉結するということがどんなにすばらしいことか、など、私は身にしみてわかつた。

A 橋本 知章

僕がここに来て思ったことは「クラスというものはすばらしい」ということだ。というのは、僕は寮生で団体生活をやってはいるが、まだそれほど真剣に物事を考えたことはなかったからである。

有明高専図書館だより

新任にあたって

図書係長 山本 久

この六月一日付で、本校勤務を命ぜられました。よろしくお願ひ致します。歴代諸先輩・諸先生が築かれた基礎の上に立ち、学内外の皆様の御指導を得て、有明高専図書館が少しでも前進できればと願っています。

図書館の機能はこのように多様化し、複雑化してきています。この複雑な機能の遂行を通して、静かでも活気があり、利用者に見られるような図書館でありたいと念じています。読書の秋も近づいています。有明高専だより特別号(昭和五十二年七月十五日発行)に先輩が記していた「読書の習慣を身につけよう」という期待に答えるためにも、図書館の扉は開放しておりますので大いに気軽に御利用ください。

入室者数	6,773人	1977.04.01/06.30
開館日数	66日	
計		
建築	74	168
工学	16	182
工業	42	164
化学	32	131
物理	32	252
電気	62	16
機械	16	51
1年	83	37
2年	37	19
3年	19	41
4年	41	200
5年	200	188
計	313	196

貸出期間	07.16-08.31	
計		
建築	43	123
工学	7	51
工業	21	110
化学	15	72
物理	29	133
電気	46	11
機械	11	24
1年	28	24
2年	24	6
3年	6	20
4年	20	108
5年	108	124
計	142	115

新着図書案内(四)

昭和52年4月以降新着図書の一部について、NDC主分類に従って0-4部門を案内します。

天の蛇 加藤九祥著 現代人物事典 朝日新聞社編
熊本昭昭史年表 熊本日新聞社編
世界の歴史(五十七) 講談社編
3 社会科学 狼に育てられた子 Signe L.A.L. 著
中野善達、清水知子共訳
黄昏のロンドンから 木村治美著

4 自然科学 円の内弟 黒田孝郎著
幾何の発想 天野健太郎著
進歩の終焉 Stuart G.S. 著
渡辺 格等訳
環境科学と技術の進歩(1・2) Rhas J.N., Robert L.M. 共著
日本化学会訳
環境賞の指標 Thomas W.A. 著

日本化学会訳 生物圏資源の利用と保全 日本化学会訳
学会訳
科学研究所の計画と進め方 Wilson, E.B. 著 福山美知子訳
測定法の基礎(2) 鎌田 仁、中壘邦夫共著
(5部門以降は次号へつづく)

学生の希望図書購入について

去る五月十一日に開かれた図書館運営委員会、図書館利用促進の一環として、左記のことが決定し、すでに実施しておりますのでお知らせします。

学生の希望する図書で妥当なもの、このたび認められました図書費の一部から購入することになりましたので、希望があれば申込書に諸事項を記入の上、投函してください。申込書は二階閲覧室入口に備えています。追って図書委員の先生に相談して、購入分を決定いたします。なお希望図書以外で図書館に対する意見があればお聞かせ下さい。

修学旅行感想記

宮川 英明

時刻は午前6時40分。寝台車で大阪についたばかり。睡眠不足の目をしながら、いよいよ始まる修学旅行への思いで、全員はずんだ表情で待ち受けていた観光バスに乗り込んだ。

法隆寺、唐招提寺、薬師寺、東大寺というコースで建築物、仏像を見てまわった。空は曇り後雨となり、古を偲ぶ我々の心にしつとりとしたるおいでであり、三笠山、嫩草山の緑を鮮かにしてくれる雨であった。

25日は高山で飛騨の里、民俗館などを見学した。合掌作りの素朴でどっしりした家の前で記念写真を撮っている学生の姿が目についた。彼らもやがて核家族を作るに違いないと思つた。

第2回 編入学志願者受付状況

本年度に引き続いて、来年度も編入学受入れが決定し、志願者募集が8月1日から8月10日まで行われた。

10日に締め切られた志願者数は次の通りである。

電気工学科	3名
工業化学科	2名
建築学科	2名

なお、受入れ人数は各学科とも若干名、合格発表は9月2日。

この編入学制度については、これまで、たびたび論議され、実施されている。

特別講義

去る、七月十五日に「超電導現象について」というタイトルで、電気工学科の3・4・5年生を対象に、九州大学入江富士男教授による特別講義がありました。

スライドによって研究概況を紹介されると共に、超電導の現象・原理及び応用について述べられました。

調整する指導方が必要です。私が学校にいた頃、こんなこと勉強しても役に立たない、と思っていたことも、現在、直接的、間接的に、仕事に影響を及ぼしているようです。もつと勉強しておけばよかったと思うこともたくさんあります。具体的に、何が役に立ったかという点も難しいですが、キャブレターの簡単なリンク機構でも、ベスト設計をしようと思うと、機械工学及びその他の専門知識、考え方を必要とします。

私がホンダに勤めて良かったかどうか、設計が私に適した仕事かどうか等は、今はわかりません。ただ、私が設計した製品が販売され、それによって会社が利益を得、私の生計が成り立っているの、私は社会の一員として責任を果しているのだという実感を持っています。

学寮だより

開始から、フラインプレーやエラーの続出で、陽気で意気盛んな試合が展開された。

卒業生 現場からの便り

46年機械工学科卒業 三ヶ次 雄

四十六年に卒業して以来、本田技研で働いています。本田技研の一角であるホンダ気化器研究所で設計の仕事をしていました。気化器研究所はホンダ全製品の燃料供給系及び各種ポンプ等の研究開発を担当する所です。そして、その図面は、京浜精機、京浜気化器で製品化されています。昨年度から、ホンダはヨーロッパで行われる二輪耐久レースに出場しています。私はキャブレターの設計担当として、それに関係しました。この種類のレースは、ヨーロッパで非常に人気のあるもの

もトラブルのない構造と、ライダーの疲労を最少にするような配慮が要求されます。

私がレースの仕事をしたのは、昨年一月末で、初戦が四月二十五日と決まっていたので、時間とに限り、これは、レイサーの間に限らず、全ての製品がこのようにして完成されます。設計者は図面を書くだけでなく、テスト関係、試作関係、及び量産工場との関係及び物を通しての意思疎通、相互信頼の確立、そして、各部門

勝ることができました。表面は、大メーカーの余裕で簡単に勝つたように見えますが、実際は、人員、設備、費用等限られていて、担当者が走り回って、やっとまとめたものです。レイサーに限らず、全ての製品がこのようにして完成されます。設計者は図面を書くだけでなく、テスト関係、試作関係、及び量産工場との関係及び物を通しての意思疎通、相互信頼の確立、そして、各部門

寮生球技大会 報告記

我が寮明寮では、去る6月26日恒例の出身地域別球技大会を、本校グラウンド、武道館、体育館で行った。

競技種目は、ソフトボール、卓球、バレーボールで、時期的に梅雨の真最中とあって、天候が心配されたが、幸い前日から雨も止みグラウンドは軟弱ながらも、砂をまき、なんとか試合を行うことが出来た。

人数の関係で、各地区のまとめ方は例年とは少し変更、

▼個人賞
井上5A 浜本3E
松尾5M 堤3E
吉村4A 横田3A

▼総合優勝 八女茶ズ
▼ソフトボール サヨナラ八代
▼排球優勝 サヨナラ八代
▼卓球優勝 八女茶ズ

▼個人賞
井上5A 浜本3E
松尾5M 堤3E
吉村4A 横田3A

▼総合優勝 八女茶ズ
▼ソフトボール サヨナラ八代
▼排球優勝 サヨナラ八代
▼卓球優勝 八女茶ズ

総合実習レポート(5)



写真A 風胴本体の製作状況

総合実習センターのその後の経過について報告します。

総合工場の第一プロジェクトとして決定した環境風胴については実行委員会においてまとめた構想の原案を骨子に機械工学科が主力となり、卒研の学生を専従とし、五十一年度末までに設計・製図が進捗して、組立てならびに部品図面が完了した。

一方総合工場も年度内に完成し、新年度からの風胴製作着手の手はずがととのつた。四月には製作のための下打合せもおこなわれ、それに参加する学生の時間割(前号に掲載)も主事室においてまとまった。

また風胴製作と併行して、それに必要な治具の設計・製作およびセンサー移動装置、模型支持台、模型、計測室の気密工事等の設計・製作ならびに防風網の実験等も各教官の指導のもとに卒研のテーマとして四月早々より学生達により検討がおこなわれている。

これよりいよいよ昭和四十六年度に始まった総合工場の構想がこれまでの静の検討段階より動の着手段階へと移ったのである。

ところで作業進捗係である私達が作業を進める上で常に確認しあつたことはつぎの二点である。第一に風胴の製作は高専教育の一環としておこなうものであるから、作業中絶えず教育効果を上げるように留意し、そのためにたとえば作業の始めに、この時間中の作業はどの工程のどの部の作業であるかを学生達に周知させ、作業上特に注意すべき事項、検討すべき事項に注意すべく出発までにこぎつけたわけで、何かと不自由な設備の中で教官と学生とが一体となつて始めた総合実習のこれまでの経過を学生達のレポートの中からいくつか拾つてみたい。(一部削除)

一、図面寸法の記入のしかたが原図をけがきする場合に大きく影響する。特に中心線一本にしてもよく考えて引かなければならぬことが改めてよくわかった。だから他の人がみてもすぐわかるように考えた図面をかかへべきだ。

二、図面を理解するのにかかる時間のながかった。このとき図面をかきこむむずかしさを痛感した。図面は誰がみてもすぐに理解できるものでなければならぬと思う。今回さらに中心線というものの重要性がわかった。

総合実習経過表(1)

実習項目	実習経過(月)	4				5				6				7				実習者数 × 時数(人時)			
		12	20	28	4	12	20	28	4	12	20	28	4	12	20	28	機械	電気	工化	建築	
風胴本体製	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220	45	30	-	
	W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	415	45	-	-	
	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	
	M	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	
風胴基礎工事	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	54	18	-	
	M	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	434	
間仕切壁工事	D	-	-	-	D	B	T	T	B	S	B	B	B	W	B	-	18	36	275		
走行クレーン整備	C	S	P	S	D	S	S	S	P	S	T	S	T	S	12	12	68	162			
その他工事ほか	ゼミ	S	E	E	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	36	12	56	144			
小計															829	186	208	1015			

(記号) B:ブロック積み, C:溶断又はコンクリート打, D:現寸引き又は設計図
E:整備, 重とり, 検討, 治具製作又は土工事, F:割栗石工事, M:機械加工
又は墨だし, P:塗装, S:鉄筋加工・組立, 取付け又は資料収集・整理, T:
検査又は試験, W:溶接又は木工事, (*) :実習完了

教室通信

機械工学科

- 下村龍太郎先生 転居 新住所◎864-01 荒尾市八幡台2丁目16-7
- 猿渡真一先生 転居 新住所◎860 熊本市新町1丁目7の1
- 宮川英明先生 次女聡子ちゃん誕生おめでとうございます。
- 奥石 脩君 43機 結婚おめでとう。新婦容子さん 新居◎801 北九州市門司区畑田町5-18-303
- 山田澄男君 43機 52年5月より1年の予定で出張 ◎HOTEL NAKHODKA ROOM 52 NAKHODKA PRIMORSK REGIOH USSR
- 前田国男君 45機 □旭硝子(株)北九州工場曹達部薬品課(804 北九州市戸畑区牧山5丁目1の1)◎803 北九州市小倉北区中井2丁目17の1旭硝子第1辻ヶ丘荘
- 宇野秀輝君 49機 長男誕生おめでとう。新居◎242 神奈川県大和市上草柳161-15
- 竹田 悟君 49機 □日立プラント建設(株)海外営業部(101 東京都千代田区内神田1丁目1番14号)◎115 東京都北区浮間1丁目13 日立プラント建設 浮間寮331号室
- 伊津野 修君 50機 □日立造船KK陸機設計所(554 大阪市此花区桜島1の3-40)◎560 豊中市南桜塚2丁目13-1 日立造船豊中寮
- 松永紀男君 50機 □旭化成工業KK延岡工務生産技術部機織第1担当◎882 延岡市平原町1丁目85の1 望南寮
- 荒牧三洋君 51機 □東洋運搬機KK滋賀製造事業部品質管理課◎523 滋賀県近江八幡市馬淵町岩倉倉寮
- 上野 茂君 51機 □川崎重工業KK神戸工場プラント事業本部産機プラント事業部産業機械部産業機械課◎652 神戸市兵庫区東山町3-2 東山寮
- 小宮健雄君 52機 □いすゞ自動車藤沢工場小型車研究本部小型エンジン設計部◎244 横浜市戸塚区平戸町

- 1492 いすゞ戸塚南寮C棟317号
- 野田茂実君 52機 □富士工業所◎北九州市小倉北区高峰町1丁目3の3富士工業所高峰寮
- 豊 潤治君 52機 □森精機製作所◎519-14 三重県阿山郡伊賀町御代200 森精機独身寮

電気工学科

- 博田能民君 44電 4月10日挙式。新婦悦子さん。新居 ◎192 東京都八王子市松ヶ谷50-2-306
- 古荘清一君 50電 □日立製作所 退社 ◎501-62 岐阜県羽島市堀津町本田460

工業化学科

- 小野弘幸君 52化 □吉川製油株式会社加古川工場◎675 兵庫県加古川市野口町北野加古川工業団地
- 河野誓一君 52化 □吉田工業株式会社 ◎938 富山県黒部市堀切1300 光志寮
- 小柳洋子君 52化 □大日本インキ化学株式会社◎569 大阪府高槻市明田町5の22
- 左右田賢三君 52化 □日揮株式会社技術研究本部衣浦研究所 ◎475 愛知県半田市白山町5の204 昭和52年度卒業生諸君、新住所を知らせられたし。

建築学科

- 5月22日～5月28日 4年生の京都、奈良地方への修学旅行がありました。引率は玉野先生、中里先生でした。
- 杉本清昭君 51建 □黒川建設 現場務めになりました。
- 甲斐富士雄君 51建 □永吉組(大牟田市)に転職しました。
- 上原修一君 51建 □千代田化工 退社しました。
- 堤 利博君 52建 □大和ハウス工業KK(892 鹿児島市山之口町2-1 安田火災海上ビル) ◎891-01 鹿児島市谷山塩谷町1158-2 上野方
- 建築学科訪問者 古賀 彰、村上剛宏 以上51建 松川典幸、加藤真理子、古閑一誠、椎山 博 以上52建。
- 室永芳三先生 転居 新住所◎852 長崎市白鳥町10-1-102

人事異動

- ▼新任 ▲ 山本 久 (九州大学より)
- ▼転任 ▲ 中島 冠守 (九州大学へ)
- ▼昇任 ▲ 中里 亜夫 (九州大学へ)
- ▼配置換 ▲ 宮川 喜巳 (前図書係長)
- 佐藤 吉業 (前作業員長)

工場見学

- 5月23・24日 機5年 三菱化成工業・新日本製鉄 東陶機器・総合機械展示会
- 5月26日 建5年 福岡銀行
- 6月2日 電4年 有明電機工業所
- 6月15日 建4年 熊本大学・熊本県立美術館
- 6月29・30日 電5年 三菱重工業・三菱電機
- 6月30日 工化4年 電気化学工業
- 7月6・7日 工化3年 日本フェロー・新日本製鉄
- 黒崎鋳業・三菱鋳業セメン
- ト・八幡エナメル
- 7月11日 建3年 三井アルミニウム工業・九州不二サッシ・日立造船

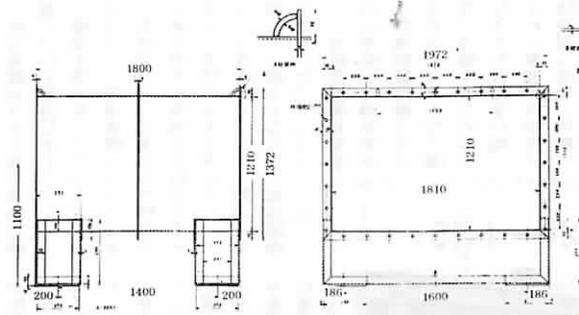
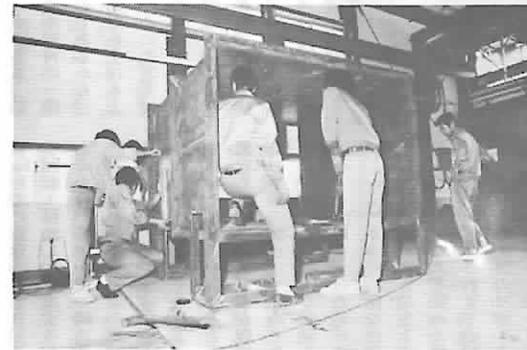


図-1 環境風洞Iブロック製作図



写真B 環境風洞IIブロック検査状況



写真C 間仕切壁工事状況



写真D 鋼製バケット製作作業

三、溶接は三年生の実習の時以来ではじめて少々まどいがあった。溶接の作業手順、天井走行クレーンの操作法、大きなものを製作するときの心得等授業外のこのような実際の作業をすることで現場での仕事の雰囲気も少しもつかみ得たことは今後の私に大へん役立つことと思う。

四、図面通りに仕上げることは非常に困難な気がした。あの重い鉄板を溶接する。ひずむ。たたく。相当の設備があれば作業は少しは楽かもしれない。また物を作ったゆえに経験が非常に必要だと思った。設計をする場合に、いかにいろいろな事を考え合せておかなければならないかよくわかった。

五、定盤の整備作業は全員で錆取りであったが、今までの実験とちがって教官・学生の区別なく一緒に作業をおこなったのは良かったと思う。

六、今日もまた一つの勉強をした。それは溶接後の歪のとりかたである。工場においては炉の中で応力除去ができるのであるが、学校にはそんな設備がないので、ハンマーで歪を取るか方法がない。そのハンマーでたたくとき、溶断で歪を生じた特定の部分をたたく必要はない。そうすれば歪は殆んどとれる。実習の利点はこのように自分で体験して覚えている。

以上は一部学生のレポートであるが、実習に参加した学生達は皆物を創造する喜びと経験の大切さを噛みしめながら、一方体験を通して模索しつつ何かを身につけようと努力していることがうかがえる。また時間中も積極的に実習に参加し、わずかながらも「もの」が完成してゆくのをみるにつけての実践的総合工場の構想も漸く定着しつつあると考えている。

四月からの風洞製作は現有設備で作業可能な巾一八〇〇耗、高さ二二〇〇耗、長さ一八〇〇耗の長方形断面の吸込ケーシング二個製作よりはじめ七月上旬に一応の完成を終えた写真A・B・図一)

一方、曲げ治具の設計・製作もすすんでおり、これが設置されるべく本格的に風洞本体の製作作業がおこなえると思っている。

このほか、これと併行して風洞組立用走行クレーンの整備、工作室とプロジェクト室間の間仕切壁工事、風洞基礎工事等の諸作業を建築・工化学科が主となって進めてきた。クレーンの整備は、本施設の新工場の関係で実施できなかった。プレス内の計測室アルミサッシの解体、電気配線及び検査、走行検査・調整等の諸作業であった。六月末にその整備を完了した。

間仕切壁工事はコンクリートブロック(C種・厚15cm)の割付図の作成から始め各学科の学生が参加し既に5段目まで積みおえているが(写真C)他の作業を急ぐため、現在中断している。次に、風洞基礎工事はクレーンの整備及び設計図の作成が遅れたため、当初の予定から大巾に遅れて漸く七月上旬にかかわらず中旬までには吸込口から計測部に至る間の根切、割栗石、捨コンクリート打、基礎鉄筋の加工・組立及び型枠用パネルの一部作製をおこなうなど、昨年度の同期間の作業ぶりと比較すると見違える程の成果を挙げている。この

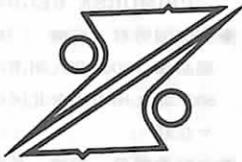
(機械工学科 清森)

第14回九州A地区

高専体育大会

報告記

学生主事



女子オープン 二位 中島・田中組 柔道(重量級) 一位 石橋博光 一位 境 幸浩 剣道 一位 境 幸浩

七月二十四日都城高専において左の七高専が参加して、一チーム三名の編成で五立ち十射によって競射が行われた。



高専弓道大会報告記

個人成績は優勝10中(皆中)有明の横田克至君、二位9中鹿兒島の西君、三位は同じく9中都城の天川君、四位以下十位までは8中が占め、そのうち有明の松本博君は八位に入賞した。

ハンドボール大会

七月二十日久留米にてハンドボール大会A地区予選が行われ、北九州と有明の二チームで競った。

七月二十四日都城高専において左の七高専が参加して、一チーム三名の編成で五立ち十射によって競射が行われた。

第14回 九州A地区高専体育大会は、七月二十一日から、七月二十七日までおこなわれました。本校学生、教職員も参加し、本校関係教職員のみならず、ご苦労さまでした。

- 有明 1-14 佐世保 有明 3-17 北九州 有明 1-10 久留米

- 有明 1-12 北九州 有明 4-10 久留米 有明 1-13 佐世保

- 有明 1-11 北九州 有明 15-11 北九州

第12回全国高専 体育大会予告

全国大会は福島高専が主管校となり、いわき市中心に大部分の種目が実施されますが、ハンドボールだけは協会主催で秋田市です。

8月27日(土)午後6時開演 第一回九州地区高専 英語弁論大会予告

また、優勝等は獲得しなかった部でも、その善戦健闘は涙ぐましいものでした。惜敗した瞬間には何かを床に叩きつけて、大声をあげて泣きたいと言った選手諸君の表情に胸のつまる思いがしたこと

- 有明 1-11 久留米 有明 2-11 佐世保 有明 1-12 北九州

- 有明 2-12 佐世保 有明 2-13 北九州 有明 4-11 久留米

- 有明 1-11 北九州 有明 15-11 北九州

来年を期してがんばりましょう

- 有明 2-12 佐世保 有明 2-13 北九州 有明 4-11 久留米

- 有明 1-11 北九州 有明 15-11 北九州

- 有明 2-12 佐世保 有明 2-13 北九州 有明 4-11 久留米

第四回九州地区高専英語弁論大会が八月三十日(火)、北九州高専において開催されます。

上原祐子、四年建築科の中山正博、牧旨之の四名が出場する予定です。

また、優勝等は獲得しなかった部でも、その善戦健闘は涙ぐましいものでした。惜敗した瞬間には何かを床に叩きつけて、大声をあげて泣きたいと言った選手諸君の表情に胸のつまる思いがしたこと

- 有明 1-11 久留米 有明 2-11 佐世保 有明 1-12 北九州

- 有明 2-12 佐世保 有明 2-13 北九州 有明 4-11 久留米

- 有明 1-11 北九州 有明 15-11 北九州

第四回九州地区高専英語弁論大会が八月三十日(火)、北九州高専において開催されます。

上原祐子、四年建築科の中山正博、牧旨之の四名が出場する予定です。